



# 木質バイオマスの 普及について

吉田 理桜/三村真子

# 現状

世界的に、、、

地球温暖化

絶滅危惧種の増加

身近では、、、

里山

管理されていない森での土砂崩れなどの災害

# あるべき姿

## 地球全体では、、、

1. 国際的な協力
2. 再生可能エネルギーの普及
3. 森林保全プログラム

## 個人では、、、

1. エコライフスタイル
2. 環境問題への関心を広げる

リサイクルの効率化  
バイオ素材の活用

# 提案

木質バイオマスボイラーを公共施設に普及させる！！



# バイオマスボイラーは何？

写真：ジャングリ



参照：かさはらの家

# バイオマスボイラーのメリット

## 1、環境

CO<sub>2</sub>の排出抑制

## 2、社会

廃棄物の発生抑制

山村地域の活性化

## 3、経済

施設のエネルギーコストの削減

森林の適切な整備への寄与

# デメリット

## コストが高い！！

- 燃料の調達コスト ↑
- 木の運搬や収集、管理

(改善策：自社で木材を調達する)

- ボイラーの建設、配管工事

(改善策：コンテナボイラーにすれば、配管工事が楽になる)

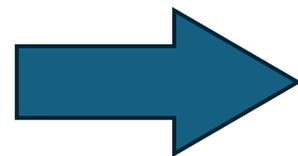
# コストは結局高い？低い？

## デメリット

初期費用の配管工事や、運搬などにお金がかかる  
→始めづらい

## メリット

燃料費が大幅に削減される  
→温泉や温水プールなどでコスト削減



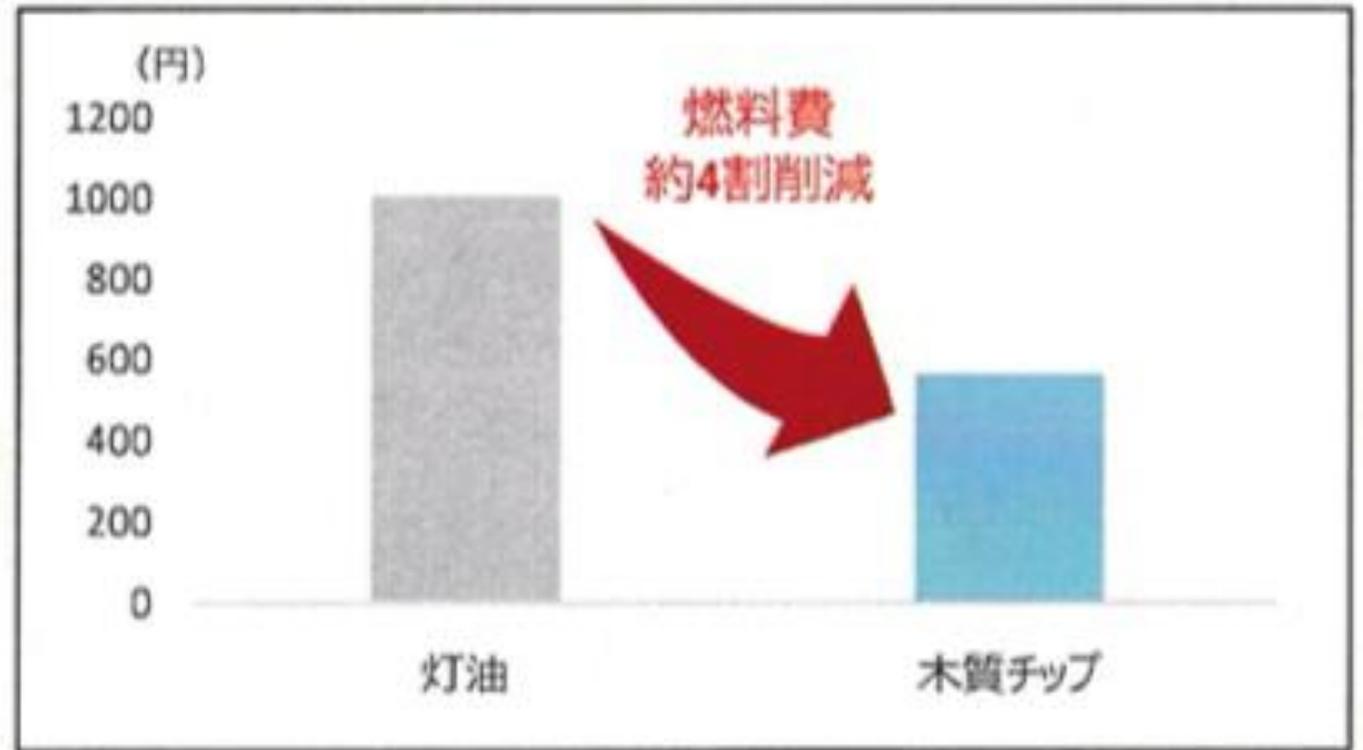
使えば使うほどコストが低い！！

# 公共施設のメリット

- 費用が削減される
- 身近でバイオマスなど環境について学ぶことができる
- 手洗いでお湯が出る
- 広い場所での暖房

# 費用を削減できる！

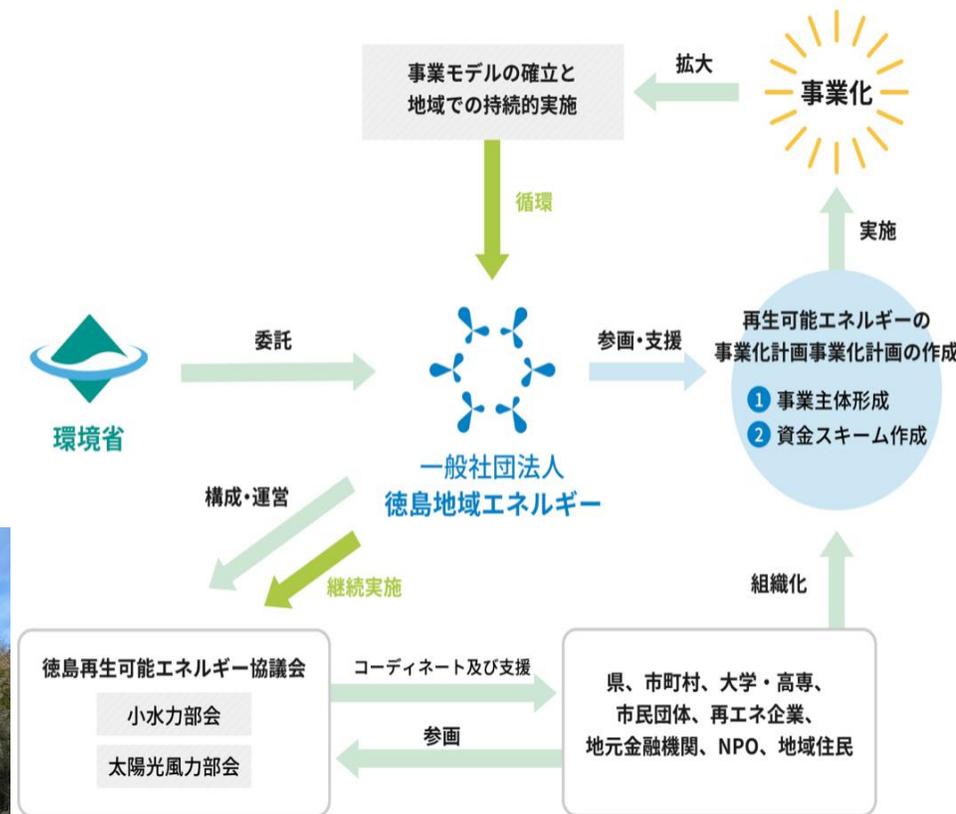
化石燃料を年間約10万リットル以上使用される施設がバイオマスボイラーに代替すると約4割燃料費の削減が期待される



参照：ジャングリン

# 〈兵庫県事例〉

## 1、神戸バイオマストラボ



一般社団法人徳島地域エネルギー

## 2、ジャングリン



# バイオマスボイラーの課題

チップが普及されていない

→燃料不足

価格が高い

(初期費用、民間の動線確保、  
設計スペース問題)

# 参考文献

グリラボ エネルギーで、つなぐ未来  
株式会社エスコ  
神戸バイオマスラボ  
ジャングリ

ご清聴  
ありがとうございました

